

おわりに

蒲郡市内の20歳未満の子ども・若者の人口が、市内人口(82,505人 24/10/1現在)に占める割合は、17.9%となっている。因みに、60歳以上は、33.2%である。本市でも少子高齢化の流れに歯止めがかからない状況が続いている。いつの時代も次代を担う子ども・若者は、国の宝であり地域の宝であるが、その言葉の重みを今こそ強く感じる時はない。しかし、子ども・若者を取り巻く環境は、決してよい状況とは言えない。犯罪の被害者となったり、子ども・若者自身が犯罪に手を染めてしまったりする事件は、依然として数多く発生している。とりわけ、インターネットの普及は、状況判断が未熟な子ども・若者にも多くの情報を与えたり、見ず知らずの人との間接的会話を可能にした。こうした密室同然での情報収集や会話の中から、犯罪に巻き込まれてしまうケースが多発しているのもこの時代の特徴といってよいであろう。こうした状況だからこそ、顔を合わせての親子や隣近所の人とのコミュニケーションの重要性が叫ばれている。

蒲郡市では、長年にわたって地域ふれあい活動が行われ、地域の大人と子どもたちの交流の場を意図的に設けてきた。本年度も市内44か所で12,000人近い参加者のもと開催された。お互い近くに住んでいながら、あまり顔を見たことがない、話をしたことがないという子どもと大人と一緒に活動することによって、自分が育つ地域を改めて意識し、愛着をもつ子どもたちが育つであろう。近隣市ではあまり例を見ないこのふれあい活動が果たしている役割は、青少年の健全育成のみならず、地域の連携強化或いは活性化にもつながっているのではなからうか。今後もそれぞれの地域で一層充実したふれあい活動がなされることを期待したい。

本年度も地域補導員や校外補導員の皆さんをはじめ、青少年の健全育成を願う地域関係者、学校関係者のご尽力によって、蒲郡市の子ども・若者は大きな逸脱なく、健全な成長を見せてくれている。しかし、ひきこもりに象徴されるように、何らかの原因によって社会生活から断絶し、夢や希望を持たずに生活している子ども・若者がいることも忘れてはならない。蒲郡市では、こうした子ども・若者に、各機関が連携して支援を施すことができるよう「子ども・若者支援ネットワーク協議会」を立ち上げている。是非、地域の力を借りつつ、様々な困難を抱えている子ども・若者に適切な支援をすることによって、すべての子ども・若者が将来に夢や希望をもって生活ができるようになることを切望する。

<表紙のマーク>

平成 22 年度一般公募により決定した蒲郡市青少年健全育成地域活動のシンボルマークです。

水色は蒲郡の美しい海、オレンジは若さ明るさをイメージし、「地域の人々の手で明るく青少年を守ろう」のコンセプトで作成されています。

発行日 平成 25 年 2 月 1 日

発行 蒲郡市教育委員会

編集・印刷 蒲郡市青少年センター

〒443-8601 愛知県蒲郡市旭町 17-1

電話 0533-66-1168

製 本 親和原田プリント(株)